

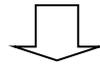
## 病床機能報告補足資料

- 1 病院名 本庄総合病院
- 2 所在地 埼玉県本庄市北堀1780
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 6

病床数(現在:2018年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	137床	48床	102床	287床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	床	床	床

\*今後変更の予定がある場合のみ記載

#### 4 主な連携医療機関

##### ・紹介元

公立藤岡総合病院、深谷赤十字病院、県立循環器呼吸器病センター、伊勢崎市民病院、岡病院、群馬大学医学部付属病院、本庄児玉郡医師会、他

##### ・紹介先

深谷赤十字病院、伊勢崎市民病院、公立藤岡総合病院、群馬大学医学部付属病院、県立循環器呼吸器病センター、青木病院、埼玉医科大学病院、岡病院、他

#### 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
2階西病棟	48床	回復期	32日	89.6%
地域包括ケア病棟2 13:1 (診療科)内科、整形外科、外科、他				
診療実績				
○急性期治療後引き続き入院を要する方に加療及びリハビリテーションを実施。				
○回復期のリハビリ:脳血管疾患・廃用症候群・運動器・呼吸器リハビリテーション				
医療連携における課題、問題点				
○現状、主に一般病棟から受け入れており、今後は施設基準の動向を見て対応する。				
○H30年度診療報酬改定で介護老人保健施設(在宅復帰加算+)が在宅から外されたため、当初は在宅復帰率の基準クリアが危ぶまれたが、施設への連携を強化し、現在では安定した在宅復帰率を維持できている。				
○退院の目途がついた患者を、退院準備のため地域包括ケア病棟に転棟する運用が漸く定着した。(病棟の入院患者数確保、患者要望対応など課題が多い)				
その他				
○継続して48床満床策を推し進める。建物設備の制約もあるため、増床(同病床数を一般病棟から減少し全体は変えない方法)は難しい				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
3階病棟	60床	急性期	19日	80.0%
急性期一般入院料5 10:1 (診療科)内科				
診療実績 ○循環器・呼吸器疾患、各炎症疾患、脳梗塞、糖尿病などに対応 ○脳血管疾患・廃用症候群・呼吸器など各種疾患別リハビリテーションを実施				
医療連携における課題、問題点 ○地域の診療所・施設との連携を強化し、増悪した患者の受け入れと在宅(施設)復帰のサイクルを構築したい。 ○医療依存度の高い患者が多く、在院日数が長くなる傾向が強い。				
その他 ○短期手術の患者を当該病棟で受入れ、病床利用率を向上したい。				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4階東病棟	42床	急性期	19日	88.1%
急性期一般入院料5 10:1 (診療科)外科、内科				
診療実績 ○外科(消化器、乳腺など)疾患に対する手術、及び保存的治療を実施 ○癌、循環器・呼吸器疾患、各炎症疾患、脳梗塞、糖尿病などに対応 ○脳血管疾患・廃用症候群・呼吸器など各種疾患別リハビリテーションを実施				
医療連携における課題、問題点 ○外科分野の高頻出疾患の患者を確実に受け入れていきたい。 ○地域の診療所・施設との連携を強化し、増悪した患者の受け入れと在宅(施設)復帰のサイクルを構築したい。 ○医療依存度の高い患者が多く、在院日数が長くなる傾向が強い。				
その他 ○継続して42床満床策を推し進める。				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4階西病棟	35床	急性期	19日	91.4%
急性期一般入院料5 10:1 (診療科)整形外科、脳神経外科				
診療実績 ○骨折、関節変性疾患、慢性硬膜下血腫などに対する手術、及び保存的治療を実施 ○頭部外傷、脳卒中などの急性期に対応 ○運動器・脳血管疾患を主にリハビリテーションを実施				
医療連携における課題、問題点 ○地域の診療所・施設との連携を強化し、増悪した患者の受け入れと在宅(施設)復帰のサイクルを構築したい。 ○退院の目途がついた患者を、退院準備のため地域包括ケア病棟に転棟する運用が漸く定着した。(病棟の入院患者数確保、患者要望対応など課題が多い)				
その他 ○継続して35床満床策を推し進める。				

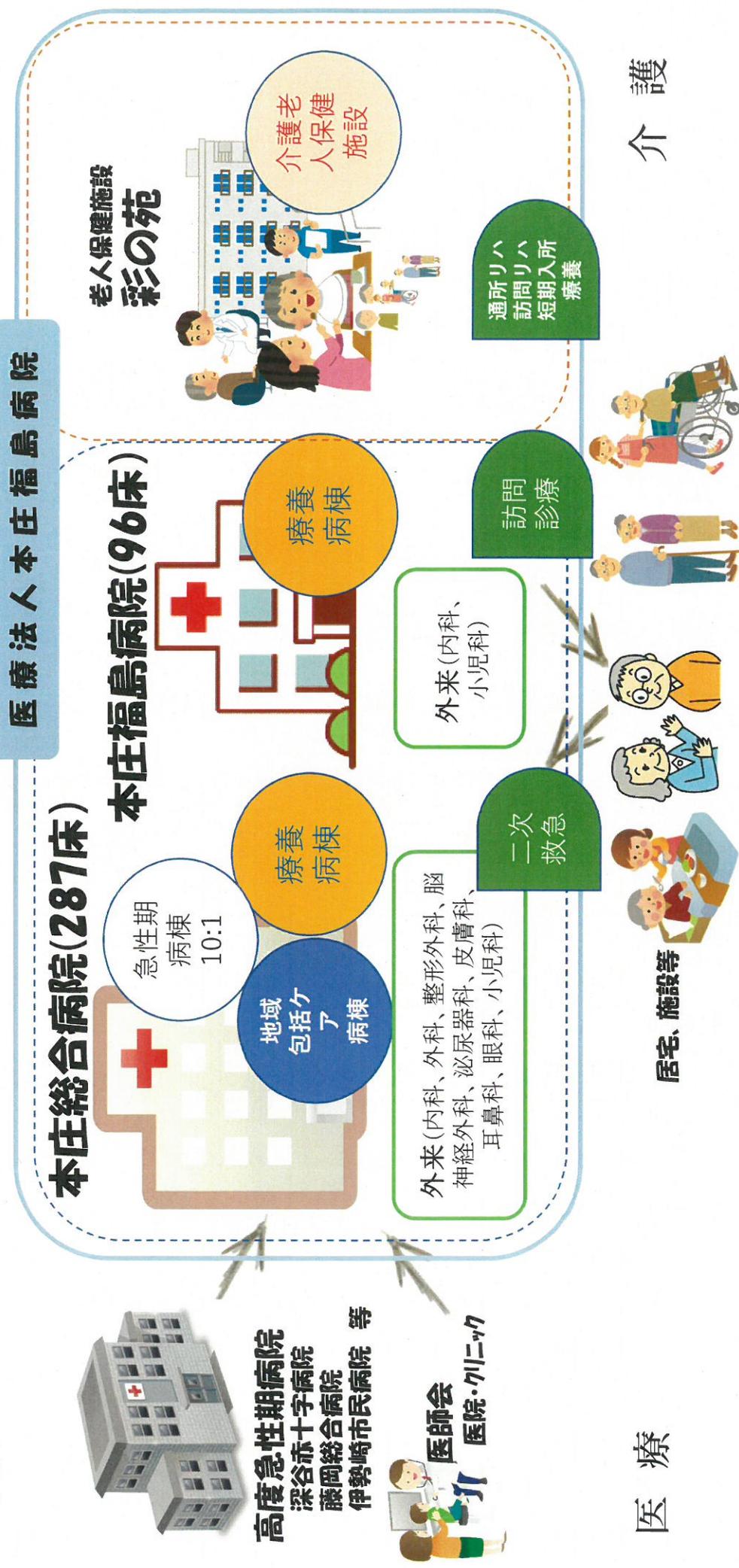
病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
北病棟	102床	慢性期	242日	98.0%
療養病棟入院料1 20:1 (診療科)内科、外科、脳神経外科				
<b>診療実績</b> ○循環器、呼吸器疾患、消化器・乳腺等外科疾患、脳卒中など急性期・回復期治療の後もなお入院療養を要する方に対応 ○維持期・慢性期の脳血管疾患・廃用症候群・運動器・呼吸器リハビリテーション				
<b>医療連携における課題、問題点</b> ○現状、主に一般病棟から受け入れており、今後は施設基準の動向を見て対応する。 ○H29年10月に51床を療養病棟入院料2➡1に転換、その後は若干平均入院患者数が減少傾向であり、院内及び地域連携の強化を模索中。				
<b>その他</b> ○継続して102床満床策を推し進める。				

・病床利用率:直近1年の平均、入院患者数は退院日除く

・平均在院日数は直近1年の平均(小数点以下切上)

# 地域医療における本庄福島病院グループの機能と役割

県北 本庄児玉地区において、急性期・回復期・慢性期までの外来・入院・訪問医療及び介護サービスを提供



医療

介護